

第4回プログラム実施レポート

実施日:25年8月11日(月)14:00~16:00

プログラム内容;

ワークショップ:キャリア教育プログラム Life Connection®

多様な人生をシミュレーション形式で体験、
社会の変化を柔軟に受け止められるライフプランについて考える授業

参加者:受講者14名、オブザーバー3名、ファシリテーター2名、スタッフ2名

会場:アエル6F中小企業活性化センターセミナールーム1B

リ・トライ!
居場所 & プログラム
開講のお知らせ

第4回 8月11日(月) 14:00~16:00
(会場詳細は、別途参加者へお知らせします)

ワークショップ:キャリア教育プログラム Life Connection®
多様な人生をシミュレーション形式で体験し、社会の変化を柔軟に受け止められるライフプランについて考える授業。
イメージしづらいこの先の将来をワーク形式でシミュレーションします。
「想定外の出来事」が起きたときでもつながることができる場所があることを知り、ひとりではない心強さを感じ、自身が望む生き方、望まない生き方考えるきっかけを考えます。

刑務所や少年院を出た後に、生活の場面や就職、アルバイトのなかで、悩みをかかえることはありませんか?
「職場の人たちとうまく会話ができない」
「2、3年後のキャリアがイメージできない」
「昔の仲間と誘われて今の仕事をやめようと考えている」
「給料をもらうとすぐに使ってしまう生活が苦しい」
「また同じことをしてしまいたいそうで誰かに相談したい」、など
そのような悩みをかかえる方々のために、全12回のプログラムをご用意しました。
生活の場面での困りごとへの具体的な対処法や、先輩たちとの対話、
そして個別相談もできる場になっています。
働き続けることで悩む皆様を、相談やプログラムでサポートします。

申し込みは
こちらからFAXで

Life Connection®
認定特定非営利活動法人
育て上げネットが提供する
キャリア教育プログラム

参加申込書 (FAX:022-762-5853)
次の通り参加したいので、申し込みます。 年 月 日

氏名	(フリガナ)		
生年月日	西暦	年	月 日
現住所	〒 - 宮城県		
電話番号	電話番号:	-	-
メール	メールアドレス:		
個別相談	個別相談を希望:	<input type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない

別途、利用申込書、個人情報取り扱い同意書等、
必要書類の提出をお願いします。受講開始となります。

主催・お問合せ先
特定非営利活動法人 Switch 法人本部 今野、本間
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1丁目6-3 東口鳳月ビル602
電話:022-762-5851 メール:info@retry-miyagi.org
法務省保護局の協力の下、仙台保護観察所、宮城県就労支援事業者機構、職観プロジェクト宮城支部、
更生保護法人 宮城東華会等と連携しています。

運営団体



Switch
認定NPO法人

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-6-3 東口鳳月ビル602

☎:022-762-5851 FAX:022-762-5853

メールアドレス:info@retry-miyagi.org 担当:今野、本間

キャリア教育プログラム Life Connection®

<プログラムの主な内容とタイムスケジュール>

- 導入:ウォーミングアップ、プログラムテーマの発表(14:05~14:15)
ごはんのお供クイズをグループで検討し、グループ発表で場を温める。
プログラムテーマ: S--想定外 O--起きるかも? S--さあ、ど~する?
- 10代シミュレーションワーク(14:15~14:35)
グループのお手伝い役「ホスト」を決める。次に、シミュレーションネーム「キャラ」をカード決める。どんなことをやるのか導入映像を見てイメージを持ってもらい、10代ソーシャルとライフをカード決めて、シミュレーション準備を完了。お助けカードを確認し、いよいよシミュレーションをスタート。1人目の10代ハプニングを決定し、ワークシートに沿ってグループでシミュレーションを進める。
- 10代2人目~30代(14:35~14:55)
ここからは、各グループに進行をお願いして、シミュレーションを継続。
- 休憩後、40代~50・60代(15:05~15:40)
適宜休憩をとりながら、順調に年代が進み、全グループ50・60代まで全員のシミュレーションワークを完了。
- ふりかえりとまとめ(15:40~15:55)
まとめのシートを記入し、グループ内で各自のふりかえりを共有。
最後に、まとめメッセージを共有し、プログラムのすべてを終了。
 - ① 人生はいろいろなことが起こる
 - ② 想定外が起きても、相談できる場所はたくさんある
 - ③ SOSは発信してもいい、最後は自分で決められる
- アンケート記入(15:55~16:00)→別紙参照(P-4)



「Life Connection®」実施報告書 一部抜粋

特定非営利活動法人 育て上げネットへの実施報告書より

【受講者年代】

- 15-19歳(2名)
- 20-29歳(2名)
- 30-39歳(2名)
- 40-49歳(4名)
- 50-59歳(3名)
- 60歳以上(1名)

【設問】プログラム内容や教材に関してご意見・ご感想がございましたらお聞かせください。

今回、本「リ・トライ！事業」の連携機関である仙台保護観察所さま、宮城県就労支援事業者機構さまから各1名と参加者の保護司さま1名のオブザーバー参加に加え、少年院等で就労支援をしている方のボランティア2名の協力のもと、受講者14名とともにLife Connection®を実施しました。

多くの方から、プログラムの構成の良さ、特に「キャラ」を設定してシミュレーションすることで、つらいハプニングが起きても、楽しくグループ内で助け合うことができる点は良く作りこまれているなど、感想をいただきました。

また、今回の参加者は10代～60代まで幅広い年代の方がいましたが、どのグループも楽しく、そしてしっかり50～60代までのシミュレーションを時間内で進行してくれました。

受講者コメント

リ・トライ！プログラム受講後アンケートより

【質問】自身が成長したと感じられる点や、今後の仕事や生活に役立つと思うことを教えてください。

- 色々なシミュレーションからトラブルの解決策を考える事ができて良かったです。
- 自分は早めに職をえらびたい。
- 助けを求めていいと知れたのは良かった。
- 一つのグループになり話し合うというのが目的で笑い合いながらも協力できたのでよかったです。
- この先いろいろなことが起こると思うので、何が起きたら、～に相談するだったり、～に行くとかを考えていた方が自分のためになると思った。
- いろんな相談窓口がある事を学びました。
- 人とコミュニケーションを取る能力が成長したと思う。
- 私はあまり仕事について深く考えませんでした。少し就職について先を見れるようになりました。
- 久しぶりに他人と話して疲れたけど、人間らしいことができたと感じうれしかった。
- 人前で話すことに少しはなれました。
- 分からなかったことを知れた。
- 楽しくやれたので、今日来てよかったと思う。
- ちゃんと人の話を真剣にきけるようになった。

【質問】プログラムの改善点や、その他感じたことを自由にお書きください。

- 今日自分のためになる事を色々ありがとうございます。
- 楽しかったです。

総括コメント

先日は、少年院・刑務所を出所された方々とともに「再スタートの場」を考えるプログラム「リ・トライ！」の開催日でした。

今回は、人生の年代ごとに自分たちが置かれる状況を想定し、その中で起こる出来事に対して「誰に相談すればよいのか」をカードゲームを通して考える時間に。

この1年、参加者の皆さんの成育歴や思春期の生活環境を伺う中で、その厳しさや難しさは私たちの想像をはるかに超えるものであり、「誰かに頼る」余裕すらなかったことが多いと感じます。

そんな彼らが、少しずつ打ち解け、楽しそうにゲームをしながら「法務少年センターってなんだっけ？」、「そんなときは法テラスに行けばいいんじゃない？」と自然に会話を交わす様子は、まさに彼らが“社会とのつながりを取り戻そうとする軌跡”のようにも思えます。

参加者は回を重ねるごとに増え、同時に運営を支えてくださるボランティアの方々や関係機関の皆さまも広がりを見せています。多くの力をお借りしながら、継続して取り組むことができます。

そして次回からは、いよいよ「生活に関するSST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)」が始まります。

「過去を隠さず、未来を考えることができる場」として、この取組みが必要な方々に届きますように。



(代表理事 FBより一部編集し引用)

